

開運成就 粟生聖天

真言宗 智山派

定福寺だより



定福寺講堂 令和8年4月12日 落慶法要予定

蓮咲くは
笑い地蔵の
在す寺

能傳子

新四国曼荼羅霊場第六十一番

2026年65号

ひのえうま
丙午



ごあいさつ

住職 釣井 龍秀

皆様におかれましては、日々御信心に定福寺にご高配を賜り、寺族一同感謝の念に堪えません。

皆様の御助力のお陰様で、「定福寺開創千三百年・弘法大師生誕千二百五十年記念行事 定福寺講堂並びに定福寺講堂に関わる境内整備事業」が執り行われています。

令和七年五月八日に地鎮祭を執り行い、講堂の建設が開始されました。ひとえに皆様の御寄進と高



知銀行様のご融資のお陰様です。御寄進の合計は令和七年十二月時点で九千三百九十万七〇五七六円となりました。御寄進を賜りました皆様には心より感謝を申し上げ、お名前は講堂の壁に永年掲示をさせて頂きます。また今後ご助力いただける方も同様に掲示させて頂きます。高知銀行様には八千万円のご融資を賜りました。

令和七年度は、定福寺の境内が変化していく様子を、ご覧になられた方も多かったのではないのでしょうか。大きなところでは、講堂の建築をはじめ、第二駐車場の整備、屋号東（東の坊）周辺の散策道の整備、本堂までのスロープの設置、宝物殿へのスロープの設置、本堂前鐘楼堂付近境内の砂利の交換、境内を横切る町道側面の石垣化などがありました。

屋号東は、故田内総一郎様、故田内美伎子様ご夫妻の所有地を、田内家長男様の奥様と御子息のお申し出によりお譲り頂きました。また第二駐車場は、西村敬史様の御高配によりお譲り頂くことができました。これにより、境内で車いすやベビーカーをご利用いただき、散策ができることになりました。本堂内までも車いすでお入り頂き、ご参拝がいただけることになりました。「旅の情報サイト 高知県バリアフリー観光」にも定福寺が掲載されています。

定福寺は明治まで、お堂が十二字ありました。仁王門から持仏堂（十一面観音堂）まで回廊があり、仁王門、鐘楼堂、経蔵や寺子屋のような学ぶ場所、剣道場などがあったことがわかっています。これらは明治の廃仏毀釈の影響ですべて無となりました。以後、先師・先人たちの努力により現在

の伽藍となりました。今回、講堂が建設されたことによって、定福寺のかつての機能が、すべて復元されたことになります。

本堂に皆様のお陰様です。

定福寺の先師の記録から、定福寺は『祈る場であり、学ぶ場であり、集う場である』ことがわかります。先師の記録は、お檀家・信者の皆様、豊永郷に住む我々だけではなく、現代を生きるすべての方々にとっても、重要な意義があると考えています。

『祈る場』である定福寺の諸堂の祈りは、代々引き継がれてきたものであり、妥協は一切いたしません。毎朝の七時からの勤行、毎月一日・十六日の聖天尊祈禱、毎月二十八日の不動明王護摩祈禱を始め、一月正月三が日護摩祈禱、二月節分星供護摩祈禱、三月彼岸会法要、四月土砂加持法要、五月お釈迦様誕生会、六月・七月・八月・九月各地区（三十ヶ所以上）お堂まつり仁王会、八月盂蘭盆会総供養、十一月聖天尊（歓喜天）浴油祈禱、十二月除夜の鐘。お礼も多くの版木が残り引き継がれてきています。

今回講堂には、成田山新勝寺伝来の不動三尊が安置されます。不動明王は2 m 50 cm、脇の制多迦童子・矜羯羅童子は1 mです。またその両脇の棚には、各地区のお堂で管理ができたくなった仏さまを安置し、いつでもお参りできるようにさせて頂きました。

『学ぶ場』でもある定福寺には、多くの経典や解説書、本が収蔵されています。残念ながら多くの史資料は焼失しましたが、残った資料や本は貴重なものであり、かつて多くの僧侶や人々が、定福寺で学んでいたことがわかります。

講堂の壁は三面を、本棚といたしました。こちらに絵本から専門書まで





を設置いたします。数年前より高知県オーティピア高知図書館より本の寄贈を頂いており、それらも設置されます。また壁は、定福寺で行う企画展などの際は、展示スペースとなります。豊永郷のことを研究調査される学生さんや研究者の方々には、定福寺ユースホステル時代と同様に、微力ではありますがご協力をさせて頂ければと思います。講堂内は机を入れた場合、七〇人ほどが座ることができ、机をのけると二一〇人以上が椅子にお座り頂ける場所になります。こちらでは、様々な研修や写真・写経会、講習会が行われる予定です。

『集う場』であった定福寺には、盆踊りなど様々な行事に多くの人が集い、剣道場には豊永郷の武士が修練に来ていた様子もうかがえます。講堂建築に伴い、多くの方にお越し頂く準備を進めてまいりました。重要だったのは駐車場の確保でした。大型バスを止める場所が無いので、ご案内できないと旅行会社さまにお話を頂いたり、初めて参拝にお越しになられた方は、道が狭くて怖くて上がれない、というお話をお聞きいたしておりました。講堂建設に合わせて国道四三九号線沿いに、第三駐車場を作りました。一方で、毎日駐車される場所ではありませんので、多くの方に自由に体を動かして、お使いいただけるようにと、人工芝を敷くことといたしました。剣道場ではなく多目的スペースとして、皆様にお使いいただければと、考え作られた場所です。第三駐車場から、仁王門までの石段の両側には、散策できるような場所や、休憩いただけるようにベンチをご用意いたしました。ご自由にお使いいただき、豊永郷の風景を楽しんで頂ければと思います。

講堂は、広く文化活動ができるように、皆様にお集まりいただき楽しめるようにと、様々な企画が令和八年にはおこなわれます。

このように現在に即した形で定福寺は『祈る場、学ぶ場、集う場』となります。定福寺は、来ることが出来る人だけが来る場所ではなく、来たい人が来ることが出来る場所であってほしい、このような形にいた

しました。そのきっかけは、ご詠歌を長年一緒に学んできた、西土居のお檀家様のお言葉でした。「副住さん、行きたくても行けなくなった」と一言と、後ろ向きに本堂の石段を降りる姿を見たからでした。こんなに御信心な方が、来たいのに来ることができない場所でもいいのだろうかと感じたからでした。

定福寺のある豊永郷の自然は素晴らしく、境内にも大賀蓮や紅葉など万葉植物や希少植物、青いミツバチやアサギマダラなど、自然を楽しむために多くの方にお越し頂いております。多くの恵みを与えてくれる自然ですが、良い面ばかりではないことは、多くの方がご存知だと思います。豊永郷の地形は、四国沖の南からのプレート移動により、急激に押し上げられて山岳地帯が形成されました。さらに緑色片岩というもろい地質であったため、北向きの斜面は地すべりが多く、傾斜は緩いが日当たりが悪いカゲジとなり、南向きの斜面は崩落により、傾斜はきつい日当たりの良いヒノジとなりました。この地すべりや崩落の跡地に人が住みついた場所が、豊永郷の集落といわれています。

カゲジは地下水を多く含むことで地すべりを誘発し、跡地にも水が豊富に残りました。山の中腹でありながら湧き水に恵まれ、山の中腹にも集落ができたとされています。南からのプレートの影響により、三百万年前から千年に一度大きな地震に見舞われています。

今回完成した講堂は、耐震設備が整い、避難用具や食料なども常備いたしております。定福寺では災害への対応も徐々に進めてまいりました。

これらもすべて、ご助力を頂きました皆様方のおかげです。本当にありがとうございます。

定福寺講堂の落慶法要が四月十二日(日)十時半から行われます。境内ではお餅蒔きも行われます。また稚児行列も行います。稚児行列に参加されたい方は二月中にご連絡を頂ければと思います。

今後ともこれまでと変わらず、温かく定福寺を見守って頂ければ幸いです。



地鎮祭

地鎮祭と言えば、神道を皆様は連想されると思います。しかし、チベットの西暦七百年代に地鎮作法が行われている絵が残っており、日本でも地鎮祭について鎌倉時代の『徒然草』に「天台地鎮 真言御修法」とあり、地鎮祭は天台宗、御修法は真言宗と書かれています。ちなみにこの御修法というのは、平安時代、宮中で毎年正月八日から七日間行なわれた真言祈祷です。宮中の真言院で御修法は行われ、後七日の御修法という。現在は東寺で毎年真言宗十八本山から僧侶が出仕し執り行われています。最終日は一時間だけ堂内を参拝することができます。



天台宗や真言宗などの密教では、土地は神々が護り、その上に仏堂などが建立され、仏法が興隆すると考えています。高野山や比叡山にも神々が祀られ、高知県内の各真言宗

と天台宗の寺院でも様々な土地の神々が祀られています。

定福寺の西側には、定福寺の鎮守として熊野権現が祀られる熊野神社があります。熊野神社も平安時代に作られたと記録があり、神像は定福寺の宝物殿に安置されています。

東寺で行われる御修法でも神々を供養する壇がありますが、定福寺の毎朝の勤行時や、護摩祈祷や節分星供祈祷、聖天尊浴油祈祷などすべての修法の最初に、この熊野権現への供養が、現在も行われています。

明治時代まで、寺院には神々にお供えをする供僧などがいました。江戸時代の棟札には、竹林寺と定福寺が、神々のお祈りをしていた様子が記された棟札が、宝物殿に残っています。

●地鎮祭の地天 堅牢地神

真言宗智山派の經典に、一般の家やお寺の庫裡などを建立する際は、「土公供」という地鎮作法を行うとあります。



朝四時から修法を開始

た堂塔等などお堂を建立する際には「地鎮壇」の作法を行うとあります。今

地鎮壇作法は、お堂を建立する際の作法であり極めて稀なものでした。

土公供・地鎮壇共に、地天に土地を貰うための作法です。地天は堅牢地神とも云い、胎藏曼荼羅に描かれています。曼荼羅は弘法大師が八〇六年に御請来されました。



地天

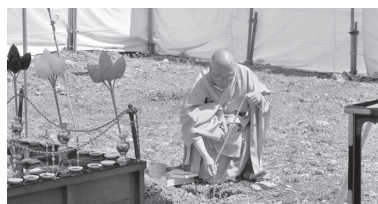
●地鎮壇



地鎮壇では、寶瓶・輪と橛（けつ）と玉を埋めます。寶瓶は中央に輪と橛は八方に埋めます。玉は四方に埋めます。同時に真言を呪いながら供物を供えます。修法は寅の刻（四時）から行います。今回も朝四時から修法を始めました。



各所に供する



瓶や橛を講堂真ん中の地中に埋める



第二駐車場と定福寺ユニバーサルデザイン化

定福寺の鐘楼堂の西側に昔からあった、駐車場の鉄筋が腐食していることを、お檀家様にお伝え頂き、二〇一八年に改修いたしました。これにより車が五台多く止めることができ、第一駐車場の下に第二駐車場のスペースと多目的トイレを設置することができていました。

しかし進入口が急斜面であり、多

くの方が使用することができませんでした。今回西村敬史様のご高配により、土地を寄贈頂き、新たな進入口と駐車スペースが完成いたしました。これにより、高知県バリアフリー観光の地としても定福寺を散策いただけることとなりました。またこれに合わせて、先師の墓所から本堂まで石畳が敷かれ、本堂内まで車



北東：伊舎那天



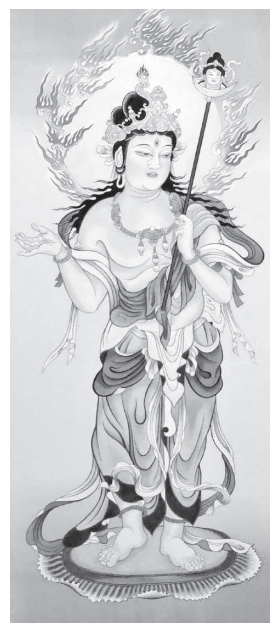
東：帝釈天



南東：火天



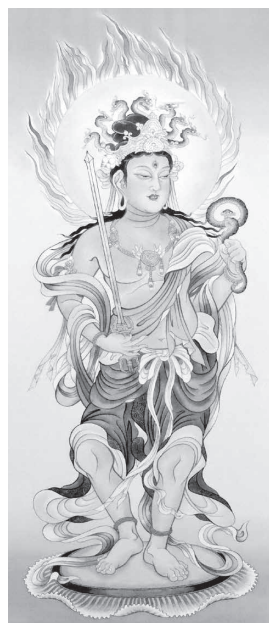
北：毘沙門天



南：閻魔天



南北西：風天



西：水天



南西：羅刹天

定福寺所蔵 牧宥恵作 『十二天屏風』 より



椅子でご参拝頂けることとなりました。境内の木道だった個所も石畳となり、持仏堂、宝物殿、講堂も車椅子でご参拝頂けることとなりました。多目的トイレは、第二駐車場と定福

寺講堂内の二カ所にございます。講堂から持仏堂に車椅子でお入り頂けます。

サイクルオアシス

定福寺の第二駐車場に、サイクルオアシスの旗と自転車の駐輪台、空気入れが設置されています。高知県の推奨するサイクルオアシスに定福寺が登録され、これらの道具が高知県より支給されました。自転車で移動されている方に、トイレや水分を補給していただき、休んで頂く場として認められました。

定福寺ユースホステルが運営されている時には、多くのサイクルリングをされる方がお泊りになられ、またレンタサイクルもいたしておりました。それらの時のご縁に感謝を込めて、現在、定福寺ができることがサイクルオアシスに登録し、サイクル



第二駐車場に設置されたサイクルオアシス

リングの方にお接待をすることでした。皆様も温かくお声掛けをしていただければ幸いです。

令和八年節分星供護摩祈禱開催日時について

定福寺では毎年節分に、「節分星供護摩祈禱」を厳修致しております。寒い季節から暖かい季節に節を分ける時期が節分です。新暦の2月3日は大変寒い時期ですが、旧暦2月3日は、本年は新暦の3月21日となります。旧暦の方が節を分けるということに関しては、納得できるように思えます。さて、星供護摩祈禱は、「星を供養する」とあり、真言宗では星供と言われます。これは弘法大師（空海師）が請求された『宿曜経』に由来しています。古来より密教では、修法や灌頂、仏像を造る時など、大事な儀式を行うための、日時や場所の選定を大切にしてきました。吉日を選定することは、阿闍梨の資質が問われる大切な作業とされていたようです。

定福寺では妙見菩薩を本尊に迎え、星曼荼羅を掲げ、本命星（ほんみょうじょう）と当年星（とうねんじょう）の星供護摩祈禱を執り行います。妙見菩薩は、北極星や北斗七星を司る天部の仏さまで。星神社といわれる場所には、妙見菩薩の仏像が祀られている場所が多いです。

本命星は、北斗七星の七つの星である、貧狼星（子）、巨門星（丑・亥）、禄存星（寅・戌）、文曲星（卯・



妙見菩薩

酉）、廉貞星（辰・申）、武曲星（巳・未）、破軍星（午）のことをいいます。これは、生まれた年に関係していますので、この星は変わりません。当年星は、一年ごとに巡る星のこと、正式には当年属星といえます。

これらの星々を供養し、国や個人的一年間の幸福を祈り、災いを除く祭りが、星供護摩祈禱で、星祭りといわれます。

星は節分より新しくなるとされているために、節分に星まつりが多くの寺院で執り行われています。定福寺では、法要の最後には毎年福男福女（厄年の方）により豆まき、福木等を撒かせていただいております。福木の中には、宝くじなどの福物が入っています。

星まつりが多くの寺院で執り行われています。定福寺では、法要の最後には毎年福男福女（厄年の方）により豆まき、福木等を撒かせていただいております。福木の中には、宝くじなどの福物が入っています。



星供曼荼羅



節分お申込みQR



節分ご祈禱料お納めQR

ます。福男福女になられたい方は、ご連絡を頂けるとありがたいです。人数に制限がありますので、お早めにお申し込みください。

本年の定福寺節分星供護摩祈禱は、
令和八年二月一日（日）
十時からとなります。

定福寺ホームページよりお申し込みやご祈禱料をお納め頂けます。郵送希望の方は、送料も選べくださいます。

聖天尊浴油祈禱

十一月になると本堂には、変わった幕が掛けられます。御存じない方は、何ですか、と質問されることもあります。定福寺のお祈りは、代々引き継がれ、全国的に見ても珍しく、引き継がれているお祈りも多々あります。その一つが聖天尊（歓喜天）浴油祈禱です。歓喜天の象徴的なお供え物が、歓喜団（お団）とお大根と歓喜酒（お酒）です。この歓喜団とお大根が描かれた幕が掛けられます。

現在でも多くのお寺で浴油祈禱は厳修されていますが、行者が家族とは別棟に籠り、誰とも会わず、自分で精進料理を作り、身の回りのことは自分で行いながら、修行に集中しているのは珍しいと思われまふ。それに加え何より珍しいのは、聖天尊（歓喜天）へのお供え物の、歓喜団（お団）のレシピを江戸時代から引き継ぎ、現在まで手作りで行事者と一緒に作られているという事です。

かつては県外のいくつかのお寺で、作っていたというお話は、お聞きいたしますが、現在も続いているお寺を存じ上げません。

歓喜団（お団）を胡麻油で揚げの前には、お祈りをし、御真言



聖天尊お申込みQR



聖天尊ご祈禱料お納めQR

をお唱えしながら揚げます。

十一月九日から十六日まで浴油祈禱が行われますが、お申込みいただいた方は、翌年の十一月八日まで毎日お祈りし、一日と十六日は、御祈禱者の皆様のお名前を読み上げ、修法を行っています。また、途中でお申込みになられた方は、浴油祈禱された御分身の御札に、お名前と願文を記し、新たに二週間以上、毎朝お祈りをし、後日お届けを致しております。お申込みになられたその日から、十一月八日までご祈禱が続けられます。

結願の十一月十六日の朝、初めて本堂が開かれる時（七時三十分から八時頃）のみ、行者は浴油祈禱が成満した直後であり、白い衣で皆様をお迎えいたしております。

定福寺ホームページからお申し込みと御祈禱料をお納めいただくことができます。

旭観音堂



豊永郷にある定福寺が主に訪れる地区が、三十六ヶ所あります。それらの地域にはすべて、お堂とお宮が建立され、お堂は定福寺の飛び地境内として、地域の方々に護られています。



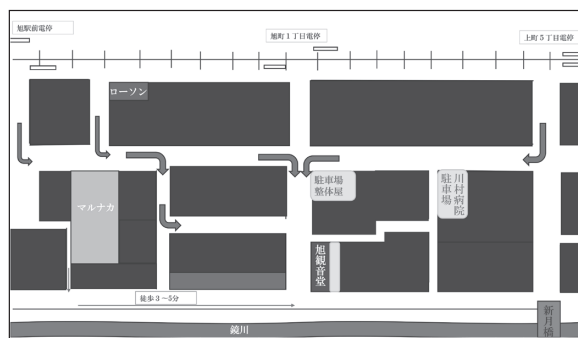
福寺旭観音堂では、月一度、写仏・

稚児行列のお稚児さん募集

定福寺では、令和八年四月十二日（日）の落慶法要の際に、定福寺の仁王門の下にある田内さん宅（屋号東）から講堂まで稚児行列を執り行います。お稚児さんの衣装などは、定福寺がご用意いたします。参加者は小学三年生までのお子様です。行列

写経会が行われ、仏教講座なども開催されます。スロープがあり、堂内まで車椅子で参拝もできます。ご法事も執り行われ、ご法事後は、鏡川を眺めながらお食事もできます。ご法事を御希望の方は、定福寺までご連絡を頂ければと思います。

住所 高知市玉水町62-1



に参加されたい方は、定福寺に二月底までにお申し込みください。その際に年齢や洋服のサイズなどをご確認いたします。また定福寺ホームページからもお申込み頂けます。参加費は、お供えとして二万円です。

写仏・写経のご案内

定福寺では、豊永郷の定福寺と高知市内の定福寺旭観音堂で写仏・写経会を開催いたしております。定福寺旭観音堂では、毎月一回、定福寺では、四月十二日の講堂落慶以降は、毎日いつでも写仏・写経が行えます。四月十二日までは、持仏堂で写仏・写経会を行っていますので、定福寺でのご法事の際はご遠慮いたしております。

京都の総本山智積院での修行中に、牧宥恵師に写仏をご指導いただきました。写経がお手本の般若心経を下に置き、その上に薄い和紙をのせ文字を写しますが、写仏は、仏さまをお写しさせて頂きます。經典と仏さまは仏教徒にとって、どちらも尊い存在であり、大事に写させていただきます。



写仏・写経をされた後は、お持ちになられても結構です。また定福寺の経筒に納められ、奉納することも可能です。定福寺には古く残るのは、鎌倉時代の写経です。

境内案内図完成

定福寺は、境内の真ん中を町道が抜けることとなり、伽藍の配置やお手洗いなどがわかりづらくなっており、よく問い合わせの電話や今どこにいらっしゃるでしょうか、という対応がありました。この度、境内と第三駐車場に境内案内図が設置されました。また旧国道四三九号にでる階段付近にも設置予定です。



旅行者と龍馬パスポート

龍馬パスポートが開始され、豊永郷民俗資料館は登録をさせて頂いていました。その後、定福寺宝物殿、日本の原風景を体験するプログラムとして、土佐豊永万葉植物園を巡り、お茶やお華を体験するプログラムに参加をさせて頂いておられます。新たに土佐



お茶・お華体験座敷
豊永万葉植物園も加入する予定です。ネットでは、このパスポートを

通じて定福寺を知り、大変喜んで帰られた方の報告などが掲載されていきました。



民俗資料館

また、SNSを通じて、大歩危など三好市を訪れた方が、定福寺まで足を延ばしてくださっています。大変ありがたいことです。これからもお越し頂いた方々が、ゆつくりできますように手入れをさせて頂きたいと思っています。

第三駐車場から仁王門までの整備

第三駐車場から仁王門まで、定福寺で整備を三年間してきましたが、今上手く整備ができました。今回香南大地さんをお願いし、整備をお願いいたしました。本堂までのスロープも香南大地さんが綺麗にしてくださいました。



講堂建設志納金の感謝録

定福寺檀家、信徒、縁者の皆様には講堂建設へ多大なる御協力を賜っております。御志納に對しまして深く感謝申し上げますと共に、ここにご報告申し上げます。

一期・二期・三期・四期と分けてご志納のご予定の方もいらっしゃるかと存じます。どうぞ引き続きご協力をいただきたく、よろしくお願い申し上げます。

金額につきましてはこれまで御志納をいただきました金額の総計を載せさせていただきます。

尚、「定福寺だより」作成の都合上、令和七年十二月一日までに御志納いただいた方の御芳名を順不同にて載せさせていただきます。ご了承くださいませ。

現在の講堂志納金の総額は、

金 九三、九七〇、五七六円

でございます。

仏具寄進

一、金 五十万円也

室戸市

藤澤 真浄様

一、金 三十万円也

柚木

前田幸太郎様

大平

三谷 啓子様

怒田

大田 芳男様

かおり様

一、金 十万円也

連火

上村 幸夫様

八畝

信高 春代様

栗生

釣井 照子様

東京都

上村 友恒様

沖

上村 賀恒様

前田 大子様

香川県

小笠原 博様

講堂建設資金

大豊町

一、金 十二万円也

沖

前田 大子様

高木 勲郎様

小松健一郎様

小松 正義様

小松 カヅ子様

大畑井

一、金 十二万円也

西村 澄子様

笹岡 修一様

西村 明政様

三谷 敏文様

一、金 八万円也

笹岡マリ子様

一、金 六万円也

永森 高子様

一、金 五万円也

小倉 高春様

一、金 三万円也

西村登美子様

三谷 優子様

一、金 二万円也

西村サヨ子様

久生野

一、金 十二万円

笹岡香代子様

三谷ダイ女様

笹岡 寛様

一、金 六万円也

大田 昌通様

一、金 三万円也

渡辺 栄蔵様

一、金 一万円也

笹岡 信子様

氏原 菊子様

土居番

一、金 十二万円也

大田宏一郎様

三谷 良子様

三谷三治雄様

松尾吉太郎様

藤原 信子様

小松 憲一様

一、金 五万円也

藤原千代美様

三谷志津子様

野々屋

一、金 三十二万円也

氏原 尋子様

一、金 十二万円也

小笠原啓元様

永森 亀太郎様

永森 宗雄様

小笠原良太郎様

重森 好文様

一、金 四万円也

氏原 靖視様

一、金 二万円也

渡辺 昭子様

一、金 十二万円也

渡久長

一、金 十二万円也

三谷 敏子様

一、金 五万円也

笹岡 康之様

八木 恒子様

笹岡 孝一様

蔭

一、金 三万円也

一、金 五万円也

一、金 三万円也

一、金 二万円也

一、金 吉永 洋子様

一、金 百万円也

一、金 十五万円也

一、金 十二万円也

一、金 上地 孝男様

一、金 前田 尊博様

一、金 前田 正宣様

一、金 松田 健一様

一、金 三谷 賀彦様

一、金 上地 健勇様

一、金 前田 品子様

一、金 前田 米穂様

一、金 前田 勝水様

一、金 前田 米香様

一、金 上地 啓正様

一、金 三万円也

一、金 三万円也

一、金 三万円也

一、金 三万円也

一、金 三万円也

一、金 三万円也

一、金 三万円也

一、金 三万円也

一、金 三万円也

一、金 三万円也

一、金 三万円也

一、金 三万円也

一、金 三万円也

一、金 三万円也

一、金 三万円也

一、金 三万円也

一、金 三万円也

一、金 豊永 秋盛様

一、金 二万円也

一、金 佐野 保子様

一、金 三谷 常敏様

一、金 三谷 秋香様

一、金 三谷 秋香様

一、金 三谷 秋香様

一、金 三谷 秋香様

一、金 三谷 秋香様

一、金 三谷 秋香様

一、金 三谷 秋香様

一、金 三谷 秋香様

一、金 三谷 秋香様

一、金 三谷 秋香様

一、金 三谷 秋香様

一、金 三谷 秋香様

一、金 三谷 秋香様

一、金 三谷 秋香様

一、金 三谷 秋香様

一、金 三谷 秋香様

一、金 三谷 秋香様

一、金 三谷 秋香様

一、金 三谷 秋香様

一、金 三谷 秋香様

一、金 三谷 秋香様

一、金 三谷 秋香様

一、金 三谷 秋香様

一、金 三谷 秋香様

一、金 三谷 秋香様

一、金 三谷 秋香様

一、金 三谷 秋香様

一、金 三谷 秋香様

一、金 三谷 秋香様

一、金 三谷 秋香様

一、金 三谷 秋香様

一、金 三谷 秋香様

一、金 三谷 秋香様

一、金 三谷 秋香様

一、金 三谷 秋香様

一、金	岡本 弘様	大滝	菅岡たか子様	一、金	信高 春代様	一、金	西村 武明様	赤根	一、金	十二万円也
	佐竹 弘義様		小笠原俊一様		三谷 廣様		渡辺 龜子様			下村 忠義様
一、金	森本 鈴子様	一、金	五十万円也	一、金	西村 藤子様	一、金	山中 龜菊様	一、金	一、金	十万円也
	永森 広子様		西村 藤子様		西村 尚利様		松高 宗男様			小笠原克安様
中内	一、金	十二万円也	小笠原邦夫様	一、金	二十万円也	一、金	三万円也	一、金	六万円也	下村 春美様
渡辺	和子様	大平	一、金	十二万円也	一、金	十二万円也	小笠原信子様	岩原	一、金	五十万円也
一、金	十二万円也	一、金	三谷 啓子様	一、金	三谷 裕一様	一、金	三谷 義文様	一、金	二十万円也	下村 信幸様
一、金	三万円也	一、金	門田 千鶴様	一、金	都築 長生様	一、金	西村 秀仁様	一、金	一、金	十三万円也
門田	墨子様	一、金	都築 清様	一、金	大地まり子様	一、金	九万円也	一、金	十二万円也	森下 廣文様
川井	一、金	十二万円也	都築 一久様	一、金	西梅 優一様	一、金	十二万円也	立野	一、金	五万円也
一、金	三万円也	一、金	門田 末子様	一、金	小笠原健一様	一、金	三谷 雄一様	一、金	一、金	三万円也
岩本	正弘様	一、金	都築 重太郎様	一、金	丸亀八重子様	一、金	三谷松太郎様	一、金	一、金	三万円也
渡辺	幸男様	一、金	西村 敬史様	一、金	大家 幸久様	一、金	六万円也	一、金	一、金	十二万円也
藤原	道夫様	一、金	阿波井忠彦様	一、金	大家 秀実様	一、金	岡本 享様	一、金	一、金	十二万円也
三谷	武昭様	一、金	小笠原輝美様	一、金	小笠原伊豆子様	一、金	六万円也	一、金	一、金	十二万円也
渡辺	盛朗様	一、金	田内美伎子様	一、金	小笠原信子様	一、金	三谷 裕一様	一、金	一、金	十二万円也
落合	一、金	十二万円也	菅岡 壽男様	一、金	八畝	一、金	十二万円也	一、金	一、金	十二万円也
上池	サチ様	一、金	門田 将男様	一、金	小笠原和行様	一、金	三谷 均様	一、金	一、金	十二万円也
近藤	幸紀子様	一、金	平石 秋了様	一、金	上村 行和様	一、金	三谷 富二子様	一、金	一、金	三万円也
上村	幸子・三谷等代様	一、金	東土居	一、金	三谷 富二子様	一、金	三谷 富二子様	一、金	一、金	三万円也

一、金 六万円也	小笠原ヨシ子様	一、金 十二万円也	山本 富男様	和目付	一、金 十二万円也	前田 浩二様	高知市	一、金 百万円也	竹林寺住職	一、金 五十二万円也	海老塚和秀様	一、金 五十万円也	小松 久保様	(有)成豊建設	上村 一正様	土居 瑞様	小笠原悦弘様	一、金 四十二万円也	渡辺 康男様	一、金 四十万円也	寛 邦彦様	一、金 三十万円也	上地 幸男様	一、金 二十万円也	北村 真一様	下村 賀基様	一、金 十八万円也	都築 敏郎様	一、金 十七万円也	澤田 美紀様	一、金 十五万円也																																								
笹岡 廣様	岡崎 園子様	大崎 和様	井上 央様	岡崎 順一様	小笠原郁子様	小笠原喜代子様	小笠原利夫様	小笠原秀郎様	小笠原 正様	小笠原光子様	門田 健夫様	上地 正子様	上村 馥様	上村 積夫様	上村 太喜夫様	上村 吉秋様	上村 賀彦様	上村 義久様	北窪 堅一様	北添ひとみ様	小松 一郎様	佐野 茂様	下村 元明様	高橋 節子様	砂田 英伸様	瀧下 靖夫様	田内喜久世様	中西 清彦様	長野 智晴様	永森 孝弘様	西村 満恵様																																								
信高 幸子様	平石 甲子郎様	平石 礼子様	平石 君子様	藤田恵美子様	藤原憲一郎様	藤原 恵様	三谷 加子様	三谷 孝子様	三谷 直行様	三谷 義兼様	三谷 栄男様	森本 晃行様	山崎 豊様	山中 末子様	山中 展子様	山本 光子様	吉永 俊誠様	吉永 英法様	渡辺 茂信様	渡辺 美佐子様	渡辺 道男様	石本喜久子様	大崎 一男様	徳増 和男様	弘瀬登美子様	岩村 久様	豊永 正富様	門田 速雄様	笹岡 良男様	上田 直人様	氏原 靖夫様	氏原 芳様	尾立 靖宣様	佐竹 英敏様																																					
白石 重喜様	都築登喜子様	弘田 允英様	三谷 節夫様	南 賀徳様	三谷 禮子様	上村 正男様	西村 正様	藤原 一男様	三谷 一彦様	三谷 純清様	小笠原敏雄様	畦地美知子様	中川 和博様	松田 修昌様	三村 悦子様	南 正様	佐竹 和子様	松田 邦夫様	上村 国之様	三谷 宏様	森岡 俊幸様	岡村 聡様	西村 重美様	笹岡 吉市様	上村 和男様	岡村 輝明様	笹岡袈裟穂様	松岡 末喜様	戸田 知恵様	山中 典子様	山本 裕子様	川西 敏子様	一、金 九万五千円也																																						
一、金 五万円也	上村 満尚様	豊永 啓一様	岡崎 正典様	池内 一之様	一、金 三万円也	飯田 順一様	小笠原侶子様	門田 忠様	北窪 康宏様	小松 英正様	小松猪佐夫様	笹岡 朝吉様	永森 利博様	西村 孝様	信高 顕彦様	松高 治吉様	吉村 広様	井口シズエ様	三谷 直美様	酒井 友子様	鶴原 正一様	永野美榮子様	三谷 哲生様	三谷 虎子様	高野 広茂様	岡本真知子様	三谷 武生様	一、金 二万円也	和田 樹霖様	一、金 一万円也	小笠原由美子様	三谷 晴澄様	三谷 幸正様	宮崎 聖也様	上岡 孝夫様	一、金 二万円也	山崎 匡様	佐野 康典様	上地 一平様	西村 文子様	上池 修様	正月 澄様	松高 晴利様	三田 美香様	渡辺 満仁様	北村 幸代様	一、金 五千円也	上村 昊子様	永森 光秀様	野村 清様	樟瀬 寛様	都築 太緑様	左代子様	一、金 三千円也	柏井 隆弘様	門田 仁様	宗圓 博之様	佐竹 美智様	圭明様	一、金 二千円也	近藤 幹夫様	八木 良一様	一、金 一千五百円也	森下 美和様	一、金 二千円也	濱崎 勝安様	豊永 賀正様	南国市	一、金 二十万円也	三谷 せつ様	一、金 十五万円也

国分寺住職					
一、金 十二万円也	林 隆光様	岡崎 太助様			
	小笠原雪子様	森尾 麻依様			
一、金 九万円也	金子 糸枝様	豊永 清香様			
	門田 利彦様	匿名 様			
一、金 五千元也	北村 竝生様	田淵 能生様			
	小林 綾子様	門田 賢一様			
一、金 三千元也	佐竹 弘敏様	北岡 利之様			
	都築 正子様	森下 理志様			
一、金 十六万円也	豊永 英夫様				
	西村 美津子様				
一、金 十二万円也	古地 裕和様				
	前田 和男様				
一、金 十二万円也	松高 清信様				
	三谷 政博様				
一、金 十六万円也	三谷 俊美様				
	三谷 由美子様				
一、金 六万円也	村上 三郎様				
	森本 憲昌様				
一、金 三万円也	下村 定様				
	佐竹 文雄様				
一、金 三万円也	永澤 悦穂様				
	依光 佳景様				
一、金 六万円也	大家 福盛様				
	小林 幹雄様				
一、金 三万円也	北村 俊秀様				
	佐竹 京子様				
一、金 三千元也	村上 勝一様				
	岡崎ヨシ子様				
一、金 三万円也	小笠原美智様				
	二階堂三枝子様				
香美市					
一、金 十五万円也	柴田 俊幸様				
	下村 宏治様				
一、金 十二万円也	下村 久夫様				
	竹崎 太一様				
一、金 一万円也	豊永 俊勝様				
	永森 孝宏様				
一、金 三万円也	平石 宮子様				
	藤原 重博様				
一、金 三千元也	前田 昌章様				
	三谷 茂敏様				
一、金 三千元也	三谷 武正様				
	三村 満男様				
一、金 十六万円也	岡崎 忠生様				
	都築 満徳様				
一、金 十万円也	上村 美恵様				
	上村 京子様				
一、金 六万円也	三谷 清夫様				
	匿名 様				
一、金 三万円也	平石喜代富様				
	森本 歳雄様				
一、金 五万円也	西村 弘様				
	西村 盛様				
一、金 一万円也	溝淵商店様				
	河野 晶博様				
東洋町					
一、金 二十万円也	大西 龍眞様				
	理子様				
一、金 十二万円也	岡本雄四郎様				
	安芸市				
一、金 十二万円也	山中 達志様				
	永沢 英季様				
一、金 百万円也	山元 文明様				
	小笠原和雄様				
一、金 十二万円也	須崎市				
	山本 芳子様				
一、金 十二万円也	土佐町				
	北村 真一様				
一、金 三万円也	三谷美智代様				
	三谷千代美様				
一、金 十三万円也	いの町				
	岡本 圭子様				
一、金 十二万円也	茨城県				
	関口 智嗣様				
一、金 五十万円也	東京都				
	上村 公昭様				
一、金 十二万円也	前田 嘉俊様				
	柳村真理子様				
一、金 五千元也	平尾 修章様				
	石川 照美様				
一、金 三千元也	神奈川県				
	熊坂 敏江様				
一、金 百万円也	西村 真紀様				
	森上 和久様				
一、金 十五万円也	三宅 博子様				
	上村 智彦様				
一、金 十二万円也	赤井 智司様				
	千代様				
一、金 三万円也	山川 進様				
	前田 治男様				
一、金 二万円也	大西 崇博様				

クラウドファンディングからの御寄付

六十万五百円
長谷川将大様（大阪府）

五十万円

森上 和久様（神奈川県）

十万円

楠目 大輔様（高知市）
砂田 庄平様（埼玉県）

三万円

平尾 修章様（東京都）
浅岡 昭由様（滋賀県）

WONG YUN YUN様（大阪府）
橋本 恵様（香美市）

二万円

幸部 吉郎様（愛知県）
坂本 真樹様

里沙様（岡山県）

一万五千円

秋山 和範様（高知市）

一万二千元

伊藤 舞様（高知市）

一万円

釣井 丈様（大阪府）
工藤 哲也様（兵庫県）

松本 貴之様（東京都）
立石 真一様（兵庫県）

河合 智矢様（静岡県）

小野 有様（山口県）
小野 律様（山口県）

中島 哲様（東京都）
鈴木 佑香様（東京都）

香川 桂子様（兵庫県）
杉本 伸枝様（愛媛県）

宮本 圭一様（高知市）
矢田部 達志様（高知市）

西山 公香様（高知市）
島村 文夫様（埼玉県）

下蘭 修司様（北海道）
田村 咲子様（香南市）

茨木 陽光様（大阪府）
宮尾 賀子様（いの町）

中野 彩乃様（静岡県）

六千元

神納 杏奈様（愛知県）
濱崎 剛士様（南国市）

五千元

吉田 沙織様（香南市）
村瀬 佐保様（高知市）

土井 幸様（大阪府）
岡 信行様（岡山県）

柴田 尚欣様（大阪府）
岡崎 嘉孝様

小松 えつこ様（高知市）
小森 靖久様（東京都）

西村 莉奈様（茨城県）
鈴木 由美様（愛媛県）

石川 照美様（東京都）
崎山 やな様（神奈川県）

金田 晶佑様（山形県）
榊山 千秋様（群馬県）

山口 ひろみ様（福島県）
吉澤 徹哉様（長野県）

浦澤 修様

山野 佳織様（東京都）
山岡 達哉様（栃木県）

秋葉 晶子様（千葉県）
西川 多紀様（いの町）

永津 貴大様（愛知県）

三千元

平野 亜喜様（神奈川県）
長谷川 瑞絵様（東京都）

御寄付いただいた方の住所について

今回の御芳名は、現住所で記載をいたしておりますが、出身地区で記載を希望される方は、ご連絡ください。この名簿が木札となり、講堂に残ることになります。

住職動向 (2025年)

1月7日	古文書調査(高知城歴史博物館調査)	11日	大杉観光ガイド	14日	高知県サイクルオアシス認定 来寺講堂建設定例会	10月3日	れいほく観光協議会理事会
14日	古文書調査(高知城歴史博物館調査)	15日	大杉観光ガイド		講堂建設定例会	4日	五体の不動明座談会
	Google 面談	16日	講堂建築打合せ	16日	定福寺日本の原風景ツアー	5日	梶ヶ森でチベット座談会
19日	風力発電意見交換会	17日	ミュージアムネットワーク幹事会	17日	金蓮寺助法	7日	定福寺朝勤行来寺(外国から)
	サッカー協会スポーツ心理学講習会	23日	旅色取材	18日	高知銀行IR参加	8日	れいほく観光協議会総会
25日	竹林寺で護摩導師		れいほく観光協議会打合せ	22日	暁天講座 講師	11日	高知大学希望創発センター 講師
27日	大豊町観光開発協会理事会		高知銀行打合せ		高知県史編集委員来寺	15日	宝生寺助法
	文化財防火デー点検作業	27日	智積院法務課より教授を受ける		文化委員会	24日	安楽寺助法
30日	ミュージアムネットワーク幹事会	5月2日	旅色打合せ	24日	定福寺日本の原風景ツアー	25日	定福寺日本の原風景ツアー
2月5日	大豊町観光開発協会打合せ	10日	ヘアー・ジョアンナ来寺	27日	仏教講座		観光案内
	勇工務店打合せ	11日	東京文化財研究所来寺	28日	金南寺来寺		永正寺助法
18日	大豊町観光開発協会評議会	12日	高知銀行打合せ	29日	大豊町創生会議	30日	講堂建設定例会
20日	宝物殿 案内15人		大豊町観光開発協会理事会	8月1日	大豊学園赴任者研修会	11月4日	高知銀行建設状況視察来寺
21日	季刊高知取材	14日	ミュージアムネットワーク理事会	5日	移住者懇親会	5日	高知県観光コンベンション協会来寺
25日	大豊町観光開発協会理事会		上田建築事務所打合せ		講堂建設定例会	6日	国立民族学博物館日高先生来寺
	米づくり講習会	20日	結縁灌頂勉強会	14日	れいほく観光協議会阿波池田行事参加		定福寺日本の原風景ツアー
26日	竹林寺へ報告	26日	旅色撮影	18日	近森病院看護科教員来寺	9日	聖天尊浴油祈禱開白
	三好市ジオガイド研修	28日	大豊町観光開発協会評議会	22日	岩原番所調査	16日	聖天尊浴油祈禱結願
3月3日	大豊町長面談	29日	講堂建設定例会		本堂見学案内	17日	宝幢院助法
6日	高知銀行調印	6月5日	近森病院看護科生徒講習会	9月1日	広島経済大学教授取材来寺	18日	講堂建設定例会
	大杉観光ガイド	6日	木材検査立ち合い		リモート会議	20日	高野寺助法
15日	古文書調査(高知城歴史博物館調査)	7日	高知大学希望創発センター 講師	2日	れいほく観光協議会来寺	21日	看板設置打合せ
16日	熊の講習会	10日	講堂建設定例会	3日	ミュージアムネットワーク理事会	22日	高知大学希望創発センター取材来寺
17日	取材	17日	土佐豊永万葉植物保存会会	5日	蟹満寺弔問へ	24日	根来寺へ曼荼羅受取
18日	牧有恵師来寺	18日	NPO法人理事会	6日	近森病院看護学校来寺	27日	クルーズ船ツアー会社案内
	NPO法人臨時総会	23日	津照寺助法	8日	国分寺助法	28日	大聖寺
19日	ミュージアムネットワーク理事会	25日	県立高知城歴史博物館評議会	9日	TRY 打合せ	12月2日	団体参拝来寺
21日	大豊町長面談	27日	仏教講座		講堂建設定例会	3日	大歩危観光関係者来寺講習会講師
23日	龍馬パスポート打合せ	28日	土佐塾高校校友会総会	11日	三好市文化財関係者来寺	5日	講堂建設定例会
24日	大豊町観光開発協会打合せ	7月1日	NPO法人豊永郷民俗資料保存会臨時理事会		定福寺日本の原風景ツアー	6日	TRY 打合せ
	大塚弁護士事務所打合せ		田平仏具店来寺	16日	大豊町役場面談	10日	金南寺弔問
25日	県立高知城歴史博物館評議会		講堂建設定例会	19日	上田建築事務所打合せ	11日	智積院不断陀羅尼出仕
28日	高知城歴史博物館 館長来寺	2日	大豊町ふるさと創生会議	22日	定福寺朝勤行来寺(外国から)	17日	岩本寺助法
	京都 田平仏具店来寺	5日	松浦佐用彦忌		文化財巡視		
4月6日	大杉観光ガイド	6日	三好市来寺	26日	講堂建設定例会		
7日	大豊町数名来寺	8日	講堂建設定例会	28日	土佐れいほく物語 講師		
10日	高知銀行打合せ	9日	豊永郷活動話し合い	30日	高知県よりバリアフリー調査		

寄進、御奉仕への感謝録

志納御芳名

定福寺講堂 曼荼羅 新調

一、金 三十万円 也

施主 怒田 大田 芳男 様
かおり 様

定福寺講堂 仏具 新調

一、金 十万円 也

施主 沖 前田 大子 様
施主 高松市 小笠原 博 様
施主 八王子市 上村 友恒 様
施主 八王子市 上村 賀恒 様

年間の行事（おまつり）の前後や年末年始には、初穂米、果物、お菓子、野菜、山菜、砂糖、生花、シキビ等をお届けいただきます。ご信心な方々には、行事ごとに、当日のお手伝いをいただいています。また、責任役員様をはじめ、各地区世話人様、節分世話人様、詠歌会の皆様には多大なご尽力をいただいております。

ここに、皆様方の先祖菩提を願ひ、仏法興隆を願うお気持ちに、謹んで御礼申し上げます。

永代日牌供養・永代納骨供養 新奉加御芳名

永代日牌供養にお申込みになられた方は、持仏堂（弘法大師堂）にお位牌を安置し、毎朝仏飯とお茶をお供えし、長老と住職が読経しご回向いたします。春彼岸の入りには年回忌を迎える仏さまの卒塔婆を建立いたします。先祖代々としてお申込

み頂いているご家族には、五年ごとにご案内を差上げ、ご供養を申し上げます。五十回忌の後もお位牌は末代安置され、ご供養をさせて頂きます。永代納骨は、境内の万霊供養塔にお骨を納めて永代供養を申し上げます。

永代日牌供養

一、施主 大阪市 藤原 忠重 様

一、施主 高知市 岩原 藤原家先祖代々 菩提也
小笠原 真太郎 様

一、施主 高知市 穴内 小笠原家先祖代々 菩提也
岡村 輝明 様

一、施主 高知市 久生野 岡村家五霊位 菩提也
岡村家地付き先祖 菩提也

一、施主 高知市 野々屋 宗圓 博之 様
永森家先祖代々 菩提也

一、施主 東土居 小笠原 俊一 様
父 覚太郎 菩提也

一、施主 高知市 山崎 豊 様
義母 恭子 菩提也

一、施主 南国市 森尾 麻依 様
岩原 吉川家七霊位 菩提也

一、施主 神戸市 白石 昌司 様
上東 白石家三霊位 菩提也

一、施主 高知市 赤根 小笠原 圭吾 様
白石家先祖代々 菩提也

一、施主 高知市 小笠原 三霊位 菩提也
小笠原家先祖代々 菩提也

永代納骨供養

一、施主 高知市 井上 洋子 様

谷尻 西村家先祖代々 菩提也
（昨年の井上様ご供養の記載に誤りがございました。訂正して再掲載させていただきます。申し訳ございませんでした。）

一、施主 高知市 岡村 輝明 様
久生野 岡村家先祖代々 菩提也
一、施主 高知市 宗圓 博之 様
野々屋 永森家先祖代々 菩提也

一、施主 高知市 西久保 小笠原 悦弘 様
上村家先祖代々 菩提也
庵谷 小笠原家地付き先祖 菩提也

祠堂料志納御芳名

祠堂料とは、亡き仏さまへの報恩謝徳と菩提寺の興隆を念じて奉納される浄財です。その御芳志の高徳にお応えして、菩提寺より亡き仏さまに、院居士・院大姉・居士・大姉の法名が届けられます。

一、施主 佐賀山 小笠原 茂夫 様
母 須磨子 菩提也

一、施主 高知市 三村 厚彦 様
母 悦子 菩提也

一、施主 野々屋 氏原 芳男 様
母 尋子 菩提也

一、施主 新居浜市 西村 武司 様
西内 良子 菩提也

一、施主 東土居 小笠原 俊一 様
父 覚太郎 菩提也

一、施主 八畝 西村 直美 様
父 時宗 菩提也

一、施主 南国市 森尾 麻依 様
叔父 吉川 潔 菩提也

一、施主 八川 平石 真紀 様
父 松太郎 菩提也

一、施主 南国市 山口 千章 様
母 永森 誉 菩提也

乗生聖天尊 永代浴油御祈祷の お申し込みを受け付け致しております

定福寺のお聖天さまは、商売繁盛・家内安全・当病平癒・開運福寿・学業成就などにご利益があるといわれており、ご祈願が多く寄せられています。お聖天さまの氏子（子供）や信徒（熱心な信者）となり、毎年お札を受けることもできます。永代浴油祈祷は、申し込みの方が永代受けられるご祈祷です。

結縁灌頂予定

定福寺では、講堂が建設されたことにより、江戸時代に定福寺で行われていたと考えられる「結縁灌頂」を令和八年十一月三日（祝・友引・火）に厳修をする予定です。

結縁灌頂は、大日如来をはじめとする曼荼羅諸尊と縁を結ぶ儀式です。結縁灌頂は、過去・現在・未来のあらゆる生命と絆を結ぶ儀式でもあります。結縁灌頂は檀信徒にとって至高の宗教的感動の機会とされ、弘法大師より引き継がれてきた儀式です。

お申し込みの方は、定福寺ホームページやお電話、メールにて受付いたします。

十二天屏風・種字曼荼羅に お名前を残しませんか

結縁灌頂に必要な支具（仏具）に、十二天屏風と種字曼荼羅というものがございます。江戸時代

に、定福寺所蔵として記録がありますが、明治に失われてしまいました。

この度、新たに梵字悉曇大家 児玉義隆師と仏



十二天屏風



製作途中の種字曼荼羅

画師牧宥恵師にご依頼をさせて頂き、令和八年度に完成し、定福寺寺宝として所蔵され、結縁灌頂で重要な役割を果たすこととなります。つきましては、この裏に寄進者としてお名前を残されませんか。御寄進は一口三十万円でお願ひ致します。

御寄進いただける方は、定福寺まで電話かメールにてご連絡ください。

定福寺落語会

令和八年五月四日（月）十五時から、桂米二師匠をお迎えし、定福寺落語会を開催いたします。



桂米二師匠

詳細は、後日定福寺ホームページにて掲載いたします。是非ご参加くださいませ。

定福寺持仏堂・旭観音堂での ご法事について

定福寺持仏堂や、旭観音堂でご法事を希望される方は、自宅でご法事をしてさし上げる用意に準じて、お供え物などのご持参をお願いします。

○お位牌

○線香、ろうソク二本

（大きめのものがありがたいです）

○生花、シキビ

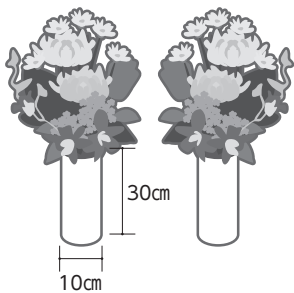
（花入れは一对準備しています）

○果物、お菓子

（故人が大好きだったものなど）

○御霊供膳（仏さまへのお膳）はお寺で準備いたします。

お集まりになる方が大人数となる場合はお知らせください。



2026年 令和8年 年回忌表

一周忌	令和7年
三回忌	令和6年
七回忌	令和2年
十三回忌	平成26年
十七回忌	平成22年
二十五回忌	平成14年
三十三回忌	平成6年
五十回忌	昭和52年
百回忌	昭和2年
以下50年目ごと	
仏誕	2592年

永続米（護持会費）の納入についてのお願い（令和8年分）

高知県は廃仏毀釈の影響が凄まじく、真言宗、天台宗を中心に600近くの寺院やお堂が廃寺になりました。吉野川沿岸に残ったのは定福寺だけでした。地域の方々や定福寺に御縁の方々がお米などの食料や仏具などさまざまにお納めいただき廃寺を免れました。その際お米を持ち寄ってくださったものが永続米です。現在でも皆様の支えにより定福寺が維持されています。皆様より平等に集められる永続米は、総本山智積院・智山派高知教区への負担金及び、定福寺の建物や境内の維持管理、広報通信費などに使用させていただいております。

東西豊永地区にお住まいの皆様には世話人・地区総代様にお世話になり、地区ごとに納入いただいております。東西豊永以外にお住まいのお檀家の方、また新しくお檀家になられた方には、お手数をおかけしますが、お届けしております振替用紙にてお納めくださいますようお願いいたします。本年からは、下記のQRコードから、クレジットカードによりお納めいただくことも可能になりました。



永続米納入QR

金1,500円以上也

1月末までにお納めください

郵便口座 口座記号 **01620-7**
口座番号 **12426**
加入者名 宗教法人 **栗生山 定福寺**

キャッシュレス

外国の旅行者の増加により、キャッシュレス決済を導入いたしました。この決済方法の導入により、各ご祈祷やご祈祷料をお納めすることもネットから可能になりました。金融機関に行く時間がない方などにはお申し込みが簡単になりました。また郵送の手間が省け、定福寺ホームページから申し込みが可能になりました。お子様やお孫様にお伝えいただければありがたいです。また、この定福寺だよりも定福寺ホームページからご覧いただけます。是非ご活用ください



除夜の鐘について

定福寺では、毎年除夜の鐘を十七時からにいたしております。先着一〇八名には番号が記されたお札をお渡しいたしております。是非ご参拝くださいませ。

また一月一日より三日までの毎日二回、九時と、十三時〜護摩祈祷を行っています。

護摩札に願文を書かれた方は、護摩の際に炉の中に yourself で、護摩札を入れてもらっています。

連絡先をお知らせください

豊永郷では、人口減少が進んでいます。多くのことは、各地区や近所の方々によって問題解決されますが、緊急事態の時に頼りの方が外出されていたり、遠方の子供や孫に連絡をしなければならぬ時があるかもしれません。実際に近年、そのようなことが何件かありました。そのような時のために、お子様や親戚の方などの連絡先をお寺にお伝えいただいております。お寺の住所録に記載し、お寺から連絡をとることが出来ます。連絡をする際は、お寺から直接いたします。別の方に連絡先だけをお伝えすることはありません。

定福寺の諸仏像 (県指定12体 ○印と◎印 平安時代作)・堂守

[定福寺本堂]

- 阿弥陀如来像 (本尊)
- 薬師如来像 (脇士)
- 地藏菩薩像 (脇士)
- 不動明王像
- 毘沙門天像
- 十一面観音像 (定福寺奥ノ院)
- 不動明王像
- 矜羯羅童子像
- 制吒迦童子像
- 歓喜天像
- 大黒天像
- 妙見菩薩像

[講堂]

- 不動明王座像 (成田山伝来)
- 制多迦童子 (成田山伝来)
- 矜羯羅童子 (成田山伝来)

- 弘法大師像 (柳瀬地区)
- 地藏菩薩立像 (柚木地区)
- 地藏菩薩立像 (立野地区)

[宝物殿]

- 六地藏 (笑い地藏)
- 聖徳太子立像
- 不動明王座像
- 弘法大師座像 (御影堂)
- ◎ 毘沙門天
- チベット砂曼荼羅・仏具
- 諸菩薩
- 神像

[持仏堂 (大師堂)]

- 弘法大師座像
- 行基菩薩座像
- 興教大師座像

[国登録有形文化財]

本堂、持仏堂 (大師堂)

[境内]

- 弘法大師修行像
- 十三仏像・七福神像
- 観音像
- 四国88ヶ所お砂踏
- 仁王門
- 薬師堂
- 水神
- 熊野神社

定福寺開創 1303年前

令和8年 当山年中行事

行 事	日 時
修 正 会 大護摩祈祷 大般若経転読	1月1・2・3日
七 福 神 ま つ り	1月7日
節 分 会 (厄はね歳とり) 大護摩祈祷	2月1日 10時
檀 信 徒 年 回 忌 先 祖 総 供 養 (彼岸中日)	3月20日
土 砂 加 持 法 要 (先祖菩提総供養)	4月1日 14時
加 持 ヶ 峰 奥ノ院大師縁日 大護摩祈祷 (旧暦3月21日)	5月7日
花 ま つ り (大念珠まわし・百足除札授与・甘茶接待)	5月24日 (旧暦4月8日)
蓮 ま つ り (万霊供養) 土佐豊永万葉植物園保存会主催	7月初旬～8月中旬
諸 病 き ゅ う り 封 じ 祈 禱 土用の丑	7月26日 9時
お 盆 総 供 養 (迎え火)	8月13日 9時
施 餓 鬼 供 養 (千体地藏流し・送り火) 東土居川原	8月16日 17時
も み じ ま つ り	11月初旬～12月初旬
栗 生 聖 天 結 願 祭 (開運福寿)	11月16日 9時～13時
除 夜 の 鐘	12月31日 17時～
栗 生 聖 天 ご 縁 日	毎月1日・16日
お 不 動 さ ま ご 縁 日 (護摩祈祷)	毎月28日 7時
写 経 会 と 仏 教 講 座	毎月1回

御法事を営まれる際はなるべく早目にお申し込みくださいますようお願いいたします。
(友引は葬儀、法事は執り行いません) お塔婆は1本2,000円です。

発 行 所

真言宗智山派
宗教法人 栗生山 定 福 寺
〒789-0167 高知県長岡郡大豊町栗生158
TEL 0887 (74) 0301 FAX 0887 (74) 0302
HP : jofukuji-kochi.jp

郵便口座 口座記号 01620-7 口座番号 12426
加入者名 宗教法人 栗生山 定福寺

住 職 釣 井 龍 秀
長 老 釣 井 龍 宏
法類総代 竹林寺住職
責任役員 海老塚和秀
責任役員 下村 堯基
地区護持会 小笠原俊一
遍照講詠歌会議員 一同

令和八年

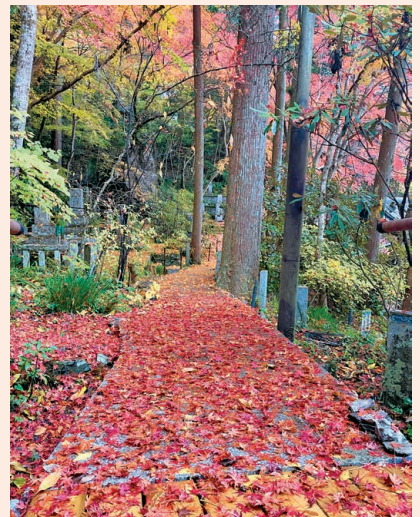
丙午



ふぢばかま (藤袴)

キク科 (草本類)
多年草 秋の七草の一つ
花期は八月～十月

写真：岡田憲佳



フジバカマ(藤袴、学名: Eupatorium japonicum)とは、キク科ヒヨドリバナ属の多年生植物。秋の七草の一つで、秋に淡紅色の花を咲かせます。他のヒヨドリバナ属と比べると、葉はほとんど無毛でやや光沢があります。関東地方以西・四国・九州にみられ、和名の由来は諸説あります。秋の七草の一つに数えられ、花の色が藤色を帯び、花弁の形が袴のようであることから、「藤袴」の名が生まれたと言われます。万葉の昔から日本人に親しまれてきました。日本へは、古く中国から渡来し帰化したと考えられていましたが、日本在来のものであるとの考えが有力です。人家に近い日当たりのよいやや湿った河原の堤防や、草地に自生しています。観賞用に庭や鉢などにも植えられます。近年の地球環境の変化によって数を減らし、絶滅の恐れがあると危ぶまれる植物で、環境省のレッドリストでは2007年に準絶滅危惧(NT)種に指定されています。

フジバカマは、美しい浅葱色(あさぎいろ)の羽を持つ「アサギマダラ」という渡りをする蝶が好んで集まる花です。アサギマダラはフジバカマの蜜に含まれる「ピロリジンアルカロイド」という成分を摂取し、この成分はメスのフェロモンを生成するために不可欠です。このため、フジバカマが咲く秋にはアサギマダラが日本各地で観測されます。アサギマダラは、台湾や東南アジアから日本へ、2,500 km以上もの長距離を旅することによって知られています。フジバカマは、この長旅の途中でアサギマダラが羽を休めるための重要な場所となっています。

定福寺の境内には仁王門下石段など茶畑の脇に咲き、アサギマダラが飛んでくる様子も観察できます。

萩の花 尾花 葛花などしこの花 女郎花 また藤袴朝顔の花

山上憶良(万葉集巻八 一五三八)

歌意：秋の七草は萩、すすき、葛の花、などしこ、おみなえしとふじばかま、あさがお(ききょう)の花です。万葉集の中でフジバカマの歌はこの一首のみです。山上憶良が中国に留学した時、この花が中国で珍重されていたのを知っていましたから七草の一つとして数えたものと思われれます。

定福寺境内の紅葉

11月初旬ごろから見ごろとなり、下旬には落ち葉の中の散策が楽しめます

